

富富富 特報

流通基準を遵守し、高品質で美味しい「富富富」ブランドを確立しよう。

～JAみな穂「富富富」ブランド化推進協議会の取組状況～

- ・県内では作付面積が1,431ha、
みな穂管内では238ha栽培されます。

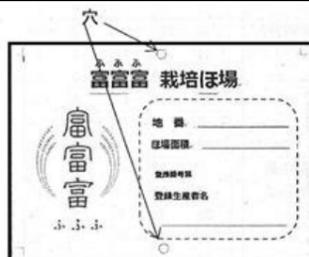
R4年産みな穂管内取組状況

入善町	186ha	37経営体
朝日町	52ha	13経営体
合計	238ha	50経営体
前年差	+26ha	△3経営体

- **流通基準** (以下の基準を満たすものを「富富富」のロゴパッケージで販売)
 - ◎検査等級：1等
 - ◎化学合成農薬成分の使用回数：12以内 (県慣行レベルの3割減)
- **品質目標**
 - ・玄米水分：14.5%～15.0%
 - ・玄米タンパク含有率：6.4%以下 (水分15%換算値)

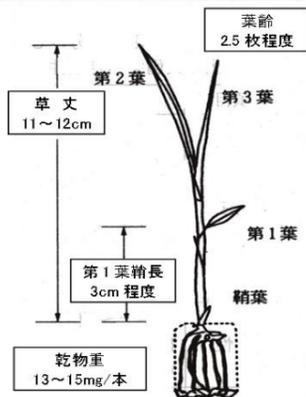
1 品種名の表示 ～他の品種との区分管理を徹底する～

- ・育苗作業及び田植時に混種が起こりやすいので、品種レベルの貼付や掲示等を工夫し、作業者全員が品種をまちがえないようにしましょう。
- ・ほ場には、「富富富」の立札の設置をお願いします。



2 育苗 ～健全な苗づくり～

- ・葉齢はコシヒカリと同程度、草丈・第1葉鞘長はコシヒカリの9割程度と、やや小柄な苗が目標です。無理に草丈を伸ばすと軟弱苗となります。
- ・特に、4月下旬以降は気温が上昇し、苗が長くなりやすいので、搬出直後から換気を徹底しましょう。
- ・密苗も同様に、換気を徹底し、良質な苗に仕上げましょう。



3 苗箱施薬剤の散布 ～苗箱施薬剤は、除草剤と間違えないように散布～

- ・は種時覆土前～移植当日に、1箱当たり50gを均一に散布しましょう。

フェルテラ箱粒剤※	1成分 (クロラントラニプロール)
------------------	--------------------------

※害虫駆除のみで、葉いもちの薬剤は含みません。

密苗の場合もフェルテラ箱粒剤を散布しましょう (1箱当たり50gを散布)。

栽培期間に使用できる化学合成農薬の成分使用回数は12以内です。

※「富富富の農薬体系」以外の農薬を使用する場合は事前に営農指導員にご相談ください。

本格作付け5年目！高品質で美味しい「富富富」ブランドの確立！

4 基肥 ～適正な基肥量を施用する～

- ・「富富富」は倒伏しにくい品種ではありますが、多収を狙って基肥量の増肥をすると品質・食味の低下につながります。施肥量はコシヒカリの2割以上減を基本とし、過剰にならないように留意しましょう。
- ・特に、昨年度「富富富」の単収が570kgを超えたり、玄米タンパク含有率が6.4%を超えていた場合は、更に減肥しましょう。

施肥体系	肥料名	施用量の目安※
一発体系	富富富専用	30～32kg/10a (側条)

※大豆跡や堆肥を施用した場合は、有機質の地力発現を考慮しましょう。

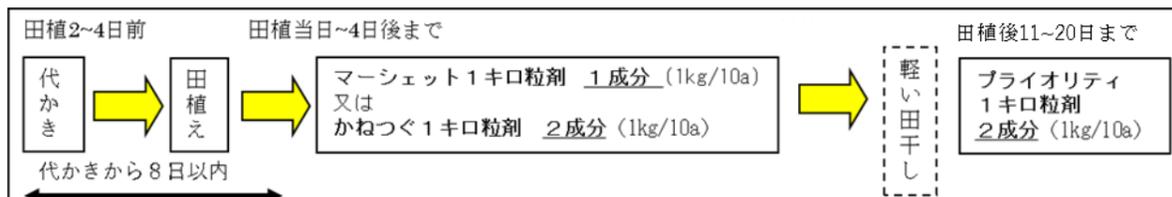
5 田植え ～適正な田植え作業の実施と初期の水管理の徹底～

- ・5月15日を中心 (5/2半旬～4半旬) とした田植えを行いましょう。
 - ・栽植株数は70株/坪以上としましょう。
 - ・田植後の3日間ほどはやや深水とし、活着を促進しましょう。その後は浅水管理で水温を上昇させ、分げつの発生を促しましょう。
- ※深水管理が続くと初期分げつの発生が少なくなるので、低温や強風時以外は浅水管理を行いましょう。

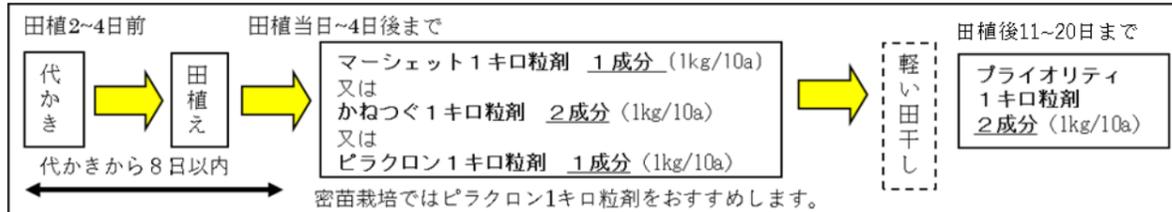
6 除草剤の散布 ～使用方法を厳守し、適期に散布～

【前作が「富富富」以外の場合】

- ・漏生苗の抜き取りの労力を軽減するため、マーシエット1キロ粒剤又は、かねつぐ1キロ粒剤を必ず散布しましょう。
- ・ただし、密苗の場合は田植え同時処理は避けましょう。



【前作が「富富富」の場合】



※初期剤を田植え同時処理する場合は、田植後、直ちに入水しましょう。散布後7日間は落水やかけ流しは行わないようにしてください。

7 中干しの確実な実施 ～遅れないように実施～

- ・水管理の効率を高めるため、溝掘りは田植後3～4週間を目安に行いましょう。
- ・中干しは田植後4週間までに確実に開始し、根づくりを行いましょう。
- ・中干し後は、落水期間が長めの間断かん水により稲体や根の健全化に努めましょう。